



# 直小だより 9月号



電話・Fax 0768(82)0313  
E-mail [tada-01@city.suzu.ishikawa.jp](mailto:tada-01@city.suzu.ishikawa.jp)  
URL <http://cms1.ishikawa-ed.jp/~tadaxe/>

以前、私の住む地区にはキリコ祭りがありました。そんなに立派なキリコではありませんでしたが、100戸に満たない地区で、5、6基はあったかと思います。そして特筆すべきは、そのキリコ祭りの準備をしたのが、主に中学生だったということです。キリコづくりは言うに及ばず、家々を回って祭りのお金を集めるのも、中学生の役目でした。祭りが近付くと、何となく集まって、動き出しました。キリコづくりの場所は、神社のお堂でした。先ずは中福（キリコ胴体の部分）から取り掛かります。扱いが良くなかったのか、毎年中福は紙が破れ新調です。障子紙を買ってきて、それを沢山の長方形に切り分け、糊でレンガを積むように張り合わせ、大きな紙にしていきます。乾いたら、地区の筆の立つ方の家まで運びこみ（自転車で）、文字を書いてもらいます。「智仁勇」「秋風香」といった文字でしたが、今から思えば、大変な達筆でした。その方への御礼の品も中学生で準備しました。中福以外にも、屋根から吊り下げる短冊、短冊を吊るす紙のこより、キリコについての陣太鼓や、燈籠や御幣をつくります。そして祭り当日。いよいよキリコを組み立てます。神社から本体、屋根、土台、担ぎ棒等を引っ張り出し、組立場所まで運びます。組立は、ほぼわら縄を使っていました。これは流石に中学生だけでは出来ないので、高校生等を呼びます。土台に本体を差し込み、中福を入れ、屋根等を取り付け、みんなで力を合わせて立てます。何基ものキリコが立つ様は壮観でした。そして、夜の帳がおりはじめる頃、ろうそくに火を灯すと、幻想的な世界が浮かび上りました。特段、決まった掛け声もなく、単に「ワッショイ、ワッショイ」と言いながら担いでいましたが、キリコに向かって手を合わせる方の姿を見ると、祭りの意味と大事さを感じました。キリコづくりには、紙に書かれたマニュアルなどなく、すべてが口伝えでした。だからこそ生まれる確かな絆が、そこにはあったように思います。

令和7年8月

珠洲市立直小学校長 道端専次

## カヤック・サップ体験（8/4）

8月4日（月）に、5・6年生を対象として、カヤック・サップ体験活動が行われました。今年度で3回目となります。昨年度同様、馬縄海岸で実施しました。NPO法人日置らい様、日置公民館様が主体となって動いてくださいり、ピースウインズジャパン様、日本スタンドアップパドルボート協会（SUP サップ）様の力強いサポートを受けて、指導者として吉井謙太様、佐藤清貴様、カヤック日本代表経験のある小松正治様をはじめ何人もの方をお迎えすることができました。飯田高等学校「ゆめかな」チームに今年も協力していただきましたことが出来、活動を安全にサポートしてもらいました。平日にもかかわらず、沢山集まっていた日置らい会員様をはじめ、多くの方々に、テントや更衣室、簡易トイレ、シャワーまでご準備いただきました。真夏の太陽の中、海は誠におだやかで、子供達は夢中になって、パドルを漕ぎ、珠洲の美しい魅力を満喫していました。時間はあっという間に過ぎました。ご協力いただきました皆々様に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



## 珠洲市親子議会（8/8）

8月8日（金）に、珠洲市親子議会が行われました。直小学校からは、6年生の松田蒼汰さんが子ども議員として参加しました。6年生が学級で話し合ったことを代表し、発表してくれました。これまでご支援いただいたことを振り返り、自分達が感謝していることが、支えてくださった方々に伝わっているのだろうかという思いから、感謝の思いを伝える手立てとして次の2点を提案しました。

- ① 自分達の元気な姿、感謝を伝える動画の発信です。CMのようなもので、メッセージ動画を市民の方々から広く募集し、例えば、珠洲のホームページに、「盛り上がろう！珠洲市！」のようなコーナーをつくれば、珠洲市の復旧・復興に携わった方々が、いつでも珠洲市の人々の元気な様子が見られるのではないかでしょうか。
- ② 「復旧・復興」をテーマとしたイベントを開くことです。支援していただいた方々をはじめ、多くの方々に、イベントに来てもらい、自分達の元気な姿を見せてことで、感謝の思いを伝えられるのではないかでしょうか。イベントアイデア例は「珠洲に希望と復興祭り」「珠洲元気・笑顔・フェスティバル」等です。うまく伝わるよう、練習を積み重ねた発表は、聞きやすく、とてもわかりやすいものでした。態度も大変堂々としていて、立派でした。松田議員、本当に素晴らしいでした。



## 2025直っ子サマースクール (8/21・22)

8月21日(木)・22日(金)の2日間、上智大学・慶應義塾大学・聖心女子大学の大学生6名が、ボランティア活動として、空路東京から直小学校に来られ、様々なアクティビティを通して、子供達を楽しませてくれました。大学生の皆さんには、いつもは「ローバースカウト(ボーイスカウトの青年版)」として活動されているそうで、お揃いのベストを身につけておられました。株洲市内の公民館を宿泊拠点として、自炊しながら、活動してくれました。午前中は、こども教室に来ている子供たちへの支援、午後は、「直っ子サマースクール」として、なかよしルームで万華鏡をつくり、新聞紙を使ったゲームやハンカチ落とし、フルーツバスケット、ジェスチャーゲーム等をしたりと、なつかしい遊びを取り入れながら、みんなが楽しめる内容ばかり行ってくれました(お弁当を持ってきた子と、お昼も一緒に食べてくれました)。参加した子供達は、最初は緊張していたものの、次第に打ち解け、だんだん普段の声が出始め、どのアクティビティも大盛上がり。あまりに楽しく、1日目だけ参加の予定だったのに、急遽2日目の参加を決めた子もいました。やさしさいっぱい、温もりいっぱいの大学生のお兄さんやお姉さんとの交流を、心の底から喜んでいました。大学生の皆様からは、「直っ子は元気がいい」「学年が異なっていてもとても仲がいい」と言ってもらいました。6名の大学生の皆様方、暑い中、ご多用の中、おいでいただき、本当にありがとうございました。



### PTA 親子行事の活動の様子

#### 【1年親子行事】

7月26日(土)に、「狼煙みんなの家」に集合し、「クラフト教室」を開きました。親子で紙コップクラッカーと風鈴づくりに挑戦しました。紙コップクラッカーブルでは、転がる紙コップを押さえながら、はさみでくりぬいたり、思い思いにマジックで絵をかいたりしました。風鈴づくりの時には、家のどこにつり下げようかイメージしながら絵柄をかいていました。



#### 【4年親子行事】

7月30日(水)に、株洲市陶芸センターで陶芸体験活動が行われました。職員の方に作り方を指導していただき、お皿や壺、コップ、小物入れ、埴輪の置物など、親子で思い思いの作品をイメージしながら、創作活動に集中していました。



ありがとうございます

今年も、とてもとても暑い日が続いております。植物にとっても、かなり厳しき日々ですが、地域の方にもご協力いただいて、プランターの花は、大変きれいに咲き続けています。また、学校田の稻は「きずな」の方々のお世話のお陰で順調に生育しています。9月の稻刈りが楽しみです。



☆玄関の花のプランター

#### ☆イネの成長



9月の行事予定		
日	曜	学校行事等
1	月	安全点検日 給食スタート
2	火	夏休み作品展(～8日)
3	水	
4	木	
5	金	理科作品展(～7日)
6	土	
7	日	3年親子行事(9:00～11:00)
8	月	第3回SDGs合同学習会
9	火	
10	水	交通安全街頭指導 薬物乱用防止教室
11	木	かたつむり
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	敬老の日
16	火	稻刈り
17	水	稻刈り【予備日】
18	木	
19	金	交通安全街頭指導・グッドマナーキャンペン 授業参観・PTA学習会・専門委員会・三役会兼実行委員会
20	土	
21	日	
22	月	交通安全街頭指導・グッドマナーキャンペン
23	火	秋分の日
24	水	
25	木	かたつむり 集金振替日
26	金	交通安全街頭指導・グッドマナーキャンペン
27	土	
28	日	
29	月	交通安全街頭指導・グッドマナーキャンペン
30	火	交通安全街頭指導・グッドマナーキャンペン 呉童集会(3年歌発表)

※予定は都合により変更することがあります。